

梅窓院通信

No.76
2015/04/01

青山



平成26年の祖師堂での施餓鬼会。多くの参拝者によるお念仏が響きわたりました。



僧侶の入退堂では詠唱会の御詠歌が響きわたります。



参拝された方そろってのお齋。



法話は佐賀教区鏡智院、中村一之住職でした。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

お彼岸も過ぎ、今年も新年度のスタートとなる四月を迎えました。今一度、気持ちも新たに平成二十七年を過ごしたいものです。

さて、今号の挨拶は「旅三題」とさせていただきます。

まずは、恒例の梅窓院団体参拝旅行です。この五月九、十日の一泊二日で長野の善光寺を訪れます。七年に一度のご開帳に合わせたの善光寺参り。前号で梅窓院の僧侶であり善光寺門前の浄願坊の次男である若麻績大成上人に特集の主役になってご開帳の魅力を紹介していただきましたが、善光寺はこの国の庶民信仰の原点でもあります。どうぞご家族をお誘い合わせの上、ご参加下さい。

続いては、これも恒例の梅窓院、傳通院、祐天寺の三か寺による合同団体参拝旅行です。毎年夏前後に海外の宗教施設と観光地を回る研修旅行ですが、今年梅窓院が担当でイタリアを訪れます。詳細は同封のチラシをご覧ください。こちらツアー旅行とはひと味違う魅力ある旅行ですので、ご参加をお待ちしています。

最後は個人旅行の話です。一月末から南米ペルーのマチュピチュとポリビアのウユニ塩湖に行ってきました。以前本紙で趣味は海外旅行と書きましたが、今回の旅行はとても印象的な旅行となりました。標高四千メートルの高地でかかった高山病。真っ平らな直径二百キロメートルのウユニ塩湖の幻想的な景色。マチュピチュという興味深いインカ文明遺跡。そして「クイ」と呼ばれるアンデス地方の御馳走、ネスミの丸焼き。どれも思い出深いものとなりました。きっかけは当院の墓苑でお世話になっている(株)彩石の社長のご子息が、人が住む最も高地の都市、ポリビアのポトシに留学していることからでした。縁を大事にする仏教ですが、私にとってはありがたい縁となりました。



ウユニ塩湖の塩の塊。綺麗な結晶体になっていました。

お施餓鬼

五月十六日(土)

施餓鬼会法要(塔婆回向)

午前十時半～ 祖師堂

※塔婆のお申込み状況により、時間を変更する場合があります。

別時念仏会／半齋供養

午前十一時半～ 本堂

お齋いらい(お食事を頂きます)

午前十二時十五分～ 観音堂

御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 熊本教区 遣迎寺 山崎龍道 上人

大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

- ・長時間にわたる法要の為、途中からの参加も可能です。
- ・塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前十時半からの法要で行ないます。
- ・全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

施餓鬼によせて

「毎年お施餓鬼には、お塔婆を建てご先祖に供養できるのが嬉しいわ」。以前あるお檀家様から頂いた嬉しい言葉です。

どの宗派のお寺様にお聞きしても、古来よりお施餓鬼法要をお勤めとのことでした。

お施餓鬼とはどのような法要でしょう。なぜ法要に参加しご先祖にお参りするのでしょうか。

—— 餓鬼に施す ——

仏教では様々な修行があります。その中で、布施という行を特に重んじます。六波羅蜜の一番初めに数えられます。自分の大切なものを人に施す。なかなかできることではありません。それも自らの行いによって、哀れ餓鬼道に落ちてしまった餓鬼に施すのです。家族や親しい友達という訳ではありません。全くの無縁の餓鬼に施し供養するのですから、そのことが尊いのです。このようにお釈迦様は阿難尊者にお諭しになられたのです。

身近な人を気に掛けることも難しい、個人主義の時代と言われる今だからこそ、改めて施餓鬼の行事の意味を見つめ直す時代だと思えます。

歴代の高僧様が、またお寺を支えてこられた先祖の方々が、自分の周りだけが世界ではない、世の中には様々な事情の恵まれない方が沢山いることに目を向けることを忘れてはならない、と様々な事情の中でも、この施餓鬼会を最も大切にし存続してこられたのです。

また、この餓鬼とは私たちののだよと戒めて解釈されたご僧侶もいました。

我が心鏡に映るものならば
さぞや姿の醜くかるらん

確かに我が身を振り返ることと、貰うことには慣れてしまう私たちです。

目には見えませんが無縁の餓鬼に施す、供養する。そのなかなかできない行為をすることが、大切なあなたの方や、ご先祖様への供養となります。そして日々の生活にも私たちの優しい心を育み、しいては良い社会となれば、これこそ生きた仏教のみ教えです。

ぜひ今年も施餓鬼会には、お塔婆をお建てし、私たちと共に浄土宗の一番のみ教えでありますお念仏をお称えしましょう。共に有縁の方、無縁の方に供養のまことを捧げましょう。

(法務部／西沢)

回向のお申込み方法とお知らせ

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆

御回向料 …… 1本／1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(木)必着でお申込み下さい。
- ・施餓鬼会法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

「せがき子どもひろば」のご案内

お施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。保育士による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒にご参り下さい。



※子どもひろばに関するお問い合わせは青山文化村まで。TEL 03-3404-8588

開山忌法要

六月十三日(土)

法要

午後三時～ 本堂

※法要終了後、休憩がございます。

能楽奉納

午後四時～ 祖師堂

演目 半能「東北」

開山忌によせて

四〇〇年前に思いを馳せてみませんか。梅窓院が開山された頃です。

時は江戸時代。庶民は鬻を結び、着物姿。武士は脇に刀を差しているそんな時代です。

その頃に徳川家の重臣、青山幸成公の菩提を弔う為に梅窓院は開かれました。開山上人は戴蓮社頂誉上人冠中南龍老和尚で、そうした時代に活躍された多くの高僧の中から選ばれたご僧侶です。

中国に飲水思源という諺があります。水は生きていくのに絶対必要不可欠。今は誰しもが簡単に水を飲める時代ですが、何もなかった時代には井戸を掘るなど、どれ程の苦勞が必要だったことでしょうか。

梅窓院も今ではこのように、綺麗でバリアフリーのお参りしやすいお寺ですが、それは

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。なお、法要と能楽ともに一般の方も参列、観賞できます。ともに費用はかかりませんので、御家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。

開山上人を始め何代にもわたる歴代のご住職の尽力の賜物です。そしてそのために、どれ程の苦勞をされたかは想像できません。

また、この開山忌には能も奉納されるので、当時の文化にも触れることができます。

開山忌にお参りいただき、開山された当時を思いを馳せ、時代の流れを感じる中で、開山上人と歴代上人に感謝したいものですね。そして、開山上人や歴代上人の御恩に報いるには、お念仏のみ教えを後世の方に残すことです。

私たちのご先祖様がお参り続けてこられた菩提寺、梅窓院。数年後に迫った東京オリンピックによりますます注目される青山を代表する梅窓院がますます素晴らしいお寺になるようにしたいものです。

(法務部／西沢)

能楽演者のプロフィール

橋本 忠樹 (はしもと ただき)

1974年京都生まれ。東京藝術大学音楽学部卒。観世流シテ方橋本礪道長男。

父及び故・片山幽雪、十世・片山九郎右衛門に師事。幼少より父、礪道に師事し3歳で初舞台。大学在学時には、観世流シテ方26世宗家・観世清和、故・藤波重満、野村四郎、観世恭秀、関根知孝、各師に師事。

大学卒業と共に九世・片山九郎右衛門(幽雪)師の許で内弟子修行を積み2001年独立。

独立後は、若者に能楽の魅力伝える新たな試みに挑戦し、祇園祭宵々山の日に若者の集う商業施設・京都「新風館」の野外舞台リキウホールにて新風館初の演能、華道未生流笹岡家元・笹岡隆甫と「生け花と能のコラボレーションの会」、お寺やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。

2006年には、「日本・チュニジア国交50周年記念、カルタゴ芸術祭」にてチュニジア国では初の能公演に、その後もドイツ公演、アメリカ公演に参加し日本のみならず海外にでも公演している。また、実際に謡・仕舞を教え、伝える事にも熱心で、京都外国語大学や京都市立御所南小学校での稽古活動、京都・東京・滋賀・大阪などでの稽古活動の他、「小さな子供のお稽古教室」も開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公益社団)日本能楽協会会員・(公益社団)京都観世会会員

東京藝術大学音楽学部同声会会員
DO YOU KYOTO?ネットワーク参加・京都市
DO YOU KYOTO?大使



二月の行事報告

第64回 念仏と法話の会
2月9日(月)

お檀家さんに 伺いました

平成27年
修正会にて

「落ち着いてお節を味わえました」

以前、梅窓院主催のピアノリサイタルにも参加しましたが、本日は新年のお墓参りに来ました。

受付で番号をもらい、2階のお部屋でお節を食べたのですが、1階とは雰囲気が違って家族で落ち着いて食べることができました。法要でしか入れないお部屋に入れることも貴重なことだと思います。お料理も美味しく頂くことができ、満足です。

「明るい気持ちになれる修正会」

1日が次男の月命日、お墓参りをする為にお寺に足を運びました。

お雑煮はとても美味しく、ダシに魚を使用していないことに驚きました。長男は黒豆が美味しかったようで、たくさんいただいでいました。

修正会は大勢の方々が参加されているので、とてもにぎやかで明るい気持ちになります。



秋彼岸写真コンクール 開催のお知らせ

今年も写真コンクールを開催致します。会場にて人気投票を行い、3名の方には景品を贈呈致します。

詳細については6月1日発行の『青山』お盆号の「特集」にてお知らせ致しますので、ふるってご応募下さい!!

発行 / 梅窓院
発行日 / 平成27年4月1日
発行人 / 中島 真成
編集 / 青山文化村
住所 / 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 / 03-3404-8447
FAX / 03-3404-8436
ホームページ / <http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
題字 / 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ



桜前線は今頃、どのあたりでしょうか？

皆様は何の花で春を感じられましたか？

先日のお彼岸に動物慰霊法要を当社主催で無事終了することができました。今回が二度目となる春の法要です。前回よりも多くの方が参列され墓苑事業部一同ほっとすると同時に春が来たと感じました。

梅窓院墓苑では新しくお墓をお求めの方に墓所をご案内しております。皆様のお知り合い等でお墓を探している方がいらしたら、ぜひ「梅窓院」をお奨めください。

お知らせ 消防訓練

3月10日(火)梅窓院で赤坂消防署の指導と監修のもとに消防訓練を行いました。僧侶や職員が消火活動を実践しましたが、真剣そのものでした。



行事予定

増上寺御忌大会

4月2日(木)～7日(火)
大本山増上寺で、4月2日～7日までの6日間浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。4月3日、4日には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡までの詠唱会が大殿(本堂)で奉納します。3日に梅窓院の詠唱会も奉納しますので、みなさんお運び下さい。



昨年の増上寺大殿での詠唱奉納の様子

はなまつり

4月4日(土)～8日(水)
寺院棟2階 本堂
寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。



誕生仏に甘茶をかける花御堂

団体参拝旅行 —善光寺—

5月9日(土)～10日(日)
長野の善光寺をお参りします。



施餓鬼会法要

5月16日(土)
※詳細は中面をご覧ください。

開山忌法要・能楽奉納

6月13日(土)
※詳細は中面をご覧ください。

第65回 念仏と法話の会

6月18日(木)
午前11時20分～(受付は11時～)
お斎 / 別時念仏 / 法話 / 茶話会
法話: 「念仏往生」を願う生き方
講師 佐賀教区 鏡智院
中村一之 住職

三ヶ寺団体参拝旅行 —イタリア—

6月21日(日)～6月30日(火)
傳通院・祐天寺・梅窓院の企画で、イタリアに参ります。
※詳細は同封のチラシをご覧ください。